

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
17ページに掲載している広報ク
イズの答えと一緒に、気ままな
ひとこと、ちょっと言いたいひ
とことを、お待ちしております。

読者の伝言板



- 広報3月19日号の表紙の赤ちゃんとお母さんからたくさんの元気をいただきありがとうございます。離乳食の始まりかしら。母子共にかわいいですね。健やかに成長されることを祈ります
(渡部栄子さん 69歳・土崎)
- 小学校や保育所が統合することは寂しいですが、たくさんの仲間たちとのびのび元気に学ぶことには夢があります。地域みんなの宝です。大切に育て守りましょう(ももこさん 34歳・河辺)
- 孫が戸島保育所に通ってました。今春、新しく河辺保育所となり、楽しみにしています。たくさんのお友達ができればいいなと思っています
(ワンちゃん 60歳・外旭川)
- 冬の間、イソップ号を利用していませんでした。その間に新しいかわい模様のバスに変身していたんですね。早くイソップ号に会いに行きたいです(チューリップさん 44歳・八橋)
- うらかな季節となり、何か運動を始めようと思ひ、自転車ライフを始めました。自転車は脂肪を燃やして走るため、健康づくりにもいい。また、身近な乗り物としてもいいですね(セカンドライフさん 65歳・飯島)
- ばあさんが採ってきた山菜の「しのは」「ふきのとう」を、おひたしや天ぷら、みそ和えにして春を感じながら食べました。が、先月27日にはまた雪吹雪。油断できませんねなのはなさん 33歳・外旭川)
- 大森山動物園のアニパ前の桜が好きです。トンネルみたいになってるんですね。早く暖かくなならないかな(菅原春希さん 34歳・手形)
- 先日、社宅の避難訓練に参加しました。うちはまだ子どもが小さいのですが、消防士さんに「いざという時はお子さんを連れて、すぐに逃げてください。命あつてのものですから。その際は必ず火事ぶれをしてくださいね」と教えていただきました(とやひなさん 36歳・南通)
- ふと駅前前のイトーヨーカドーができる以前の風景を思い

地域の話 おしえて!!

飯島地区コミセンが新装オープン 利用者にやさしいコミセンに



「ほほえみコーラス」のみなさんが新装オープンを歌で祝福しました

4月1日、飯島地区コミュニティセンターが改装工事を終え、新装オープンしました。築30年以上になる建物は化粧直しを終えて、新築のような明るい雰囲気。館内も照明が明るくなったり、段差が解消されたりして、オープンを待ちわびていた地域のみなさんは早く利用してみたいと意気込んでいます。

オープン初日はコーラスサークル「ほほえみコーラス」の歌い初めなどで開館を祝いました。飯島地区コミセン運営対策委員長の加藤武美さんは「地域のみなさんがコミセンを文化やスポーツ活動などの拠点として活用し、地域の絆を深めてほしいです」と話します。

生まれ変わったコミセン。地域とともに育ってほしいですね。



外観も新しくなり、ますます地域に身近なコミセンになりました



おしゃべりかわらばん



アルヴェで中国ギョウザ作りに参加した日野恭子(右)さんと鈴華さん

本場の味を学びました

ふだんは焼きギョウザを作ることが多いですが、今日は水ギョウザを作りました。ギョウザの皮から手作りで、本格的な作り方を学ぶことができました(恭子さん)。

生地を棒で伸ばすのが難しかったです(鈴華さん)。

歌えて感激です!

飯島地区コミセンの新装記念で歌うことができ感激しています。今日は朝から張り切っていました(石黒さん)。こんなに立派なコミセンで歌えて大感激! もっともっと長生きして頑張ります(原田さん)。



飯島地区コミセンで歌を披露した「ほほえみコーラス」の石黒キヨさん(右)と原田トモさん



土崎図書館のおはなし会に参加した細谷恵琉さん(左)と糸井彩夏さん

おはなしありがとう

おはなしおばさんがいろいろなお話を聞かせてくれました。手遊びやことば遊びは知っているものもあって、一緒にできました。絵本はふだんからよく読みます。誰かに読んでもらうのも好きなので楽しかったです。

市役所で黄色い帽子贈呈式

手を挙げて渡ります

黄色い帽子もらったよ。小学校に行くときにかぶります。横断歩道を渡るときは手を挙げて渡るよ。

学校に行ったら、お友だちと警察ごっこをして遊びたいです。算数も頑張るよ。



菅原健友さん(豊岩小1年)

車に気をつけます

道路を渡るときは、車に気をつけて渡ります。

学校に行ったら、漢字の勉強をがんばります。お友だちをたくさんつくって、大好きな体操をいっしょにしたいな。



本間陽菜さん(下北手小1年)



保戸野八丁の旧市長公舎を改築して、こばと保育園分園「みつば保育園」が4月1日に開設しました。

出しました。「金座街」…古かったけれど秋田らしさがギュッと詰まった場所でした。ダイエー近くにあった「名店街」…ここも温かみのある一角でした。「古い秋田を返して」とは言いませんが、失ったものの価値、大きさを一市民として痛感しています(矢野真由美さん 50歳・御野場)

係からとひとこと
4月も半分が過ぎ、桜が咲く時期も近づいてきました。緊張しながら新しい職場や学校に向かった人も、新しい環境にだんだん慣れてきたころだと思えます。私は広報課に勤務して早くも3年目、仕事にはだいぶ慣れましたが、4月はなぜか緊張します。きつと新しく職場に来た人たちの意気込みが自分にも伝わってくるからですね。仕事に慣れてくるとつい油断して失敗する自分ですが、市長コラムのタイトルでもある「日々初心」を忘れず、緊張感を持って広報あきたの制作に取り組みたいと思います。(吉田)



3月19日の交付式で

宝くじからプレゼント 地域の防災に

(財)自治総合センターから、宝くじの収益を地域の自主防災組織の育成・強化に役立ててほしいと、鼠田町内会自主防災会(飯島)に30万円の助成がありました。

鼠田町内会自主防災会では、消火器や毛布、救急医療セット、リヤカーなどを配備。地域防災力の向上に大きく役立っています。